

交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。

*各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。

本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：ゲント大学 Gent University

留学先での所属学部・研究科：

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2017年 9月－2018年 7月

神戸大学での所属学部・研究科：経営学部

学年（出発時）：3年

本報告書記入日：2018年 8月 10日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 9月 23日

学年終了月日： 7月 6日

学期：

① 9月 23日～ 2月 5日

② 2月 12日～ 7月 6日

③ 月 日～ 月 日

④ 月 日～ 月 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

様々な学部がある総合大学であり、また歴史も古く、多くの学生が在籍する。

経済経営学部は世界の大学ランキングで100位以内に掲載されている。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

学生数が多いため大人数で開講される授業が多い。また、経済経営学部のほとんどの授業では、講義とともにグループワークも並行して行われる。成績は主にグループワークの成果と期末テストの結果で評価される。グループワークでは現地の学生と留学生が一緒になって取り組むので、そこで現地の学生と関わることが出来る。現地の学生はグループワークに慣れており、グループのメンバーでそれぞれ役割を決めながら効率よく進めることが出来る。授業もグループワークも基本的に英語で行われるが、現地の学生ばかりのグループに留学生が一人だけ参加するといった場合、現地学生はオランダ語でワークを進めてしまうこともあった。授業は、前半と後半の各セメスターごとにそれぞれ自分の好きなものを登録し履修できる。決められた範囲内で経済経営以外の学部から履修することも可能だった。

1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Business Skills	Audenaert, Mieke	3	3	900	生徒数があまりに多くマークシート形式の試験だった。
2	Marketing Communication	Vermeir, Iris	4	6	300	グループワークの割合が高い。
3	Creating Value using Social Media	Van Looy, Amy	3	3	200	グループワーク、授業。
4	Applied Welfare Economics	Verhofstadt, Elsy	3	3	50	グループワーク、授業。
5	International and Cross-cultural Marketing	Slabbinck, Hendrik	3	3	100	グループワーク、授業。
6	Buying Behavior	Vermeir, Iris	5	6	250	グループワーク、授業。
7	European Entreprise Policy	Aernoudt, Rudy	3	3	100	授業のみ。
8	Business-to- business Marketing	Muylle, Steve	4	6	100	ほぼ毎回の授業はグループごとに分かれてワークを行った。その解説を最後に教授が行う形式だった。

1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

留学生向けのオランダ語の講座を開講していた。

勉学面でのサポート：

特になし。

精神面でのサポート：

バディ制度があり、大学やゲントでの生活に関して質問したり相談したりすることのできるバディと呼ばれる生徒が留学生ひとりひとりについた。

住居・生活面でのサポート：

留学生専用の寮があり、セキュリティもしっかりしていた。ただし寮の部屋数に限りがあるため、留学生全員が入れるわけではない。

課外活動のサポート：

Erasmus Student Network などの団体が、留学生たちが大学主催以外の行事にも参加できるようサポートしているように感じた。

1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

寮に入居するのがいちばんよいと感じた。一般のアパートなどに住む場合は契約期間などに気を付けた方がよいと思う。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

神戸大学の学研付帯海外留学保険に加入。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

現地では特に加入していません。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

インターネットの料金も月々の寮費に含まれていた。

大学でのPCの使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

大学内の図書館や共有スペースに設置されていた。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通っておりません。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

基本的に日本と同じように過ごせば問題ない。朝晩の気温の変化や日頃の天気の変化が激しかったので、服装などで体温調節には留意したほうがよい。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）

キャッシュパスポートを利用した。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

大学の寮近辺にある学生向けのレストランやカフェなどによく通っており、その店主の方やお客さんとコミュニケーションをとっていた。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

課外活動ではないが後半の Semester でボランティアとしてバディ制度に参加し、第2 Semester からの留学生のバディをつとめた。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

学生の街なので普段はとてにぎわっていて活気がある。休暇中などは現地の学生が実家に帰省するため静かになるが、街の中心部あたりは観光地としても人気なので、近隣の国からの観光客が訪れている。留学生も多いのでオランダ語が話せなくても生活に困ることはない。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

就職活動はしていません。

4. 経費について

4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

航空運賃：往復で 14 万円ほど

住居費（月額×留学月数）：5 万円×10 ヶ月

食費（月額×留学月数）：3 万円ほど×10 ヶ月

保険料：9 万円ほど

その他：ビザ申請のための費用 4 万円ほど

交通費等 5 万円ほど

計： 112 万 円（留学期間全体の費用）

4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO , 8 万円/月

その他（渡航費等の支給） 0 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

日本大使館のホームページ、トラベロコ(ホームページ)、ベル通(ホームページ)

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

普段使用している日本の文房具、日本の調味料やお菓子など、常備薬。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上，キャリアパスの明確化，異文化理解等）

※ 語学力については，差し支えの無い範囲で，留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 点→帰国後（ ） 点

異文化への理解を深めることができ、また言語や背景の異なる人々との出会いやコミュニケーション。

アント大学は留学生の数もとても多く、世界各地から学生が学びに来ていたので、そのような留学生との交流を通して現地ベルギーだけでなく様々な国の文化や習慣について知ることが出来る。寮では共用スペースで他の国からの留学生と、また大学ではグループワークなどを通じて現地の学生と触れ合うので、毎日新しい発見や学びがあった。そして彼らとコミュニケーションをする上で改めて英語力の大切さを身をもって感じる事ができた。何よりそこで出会った友達がかげがえのない存在になった。さらに今後の進路という点でも、同じ年代の彼らから将来への姿勢に刺激を受け、海外で働くということも現実的に視野に入れ自分の進路を考え直すきっかけを持つ事ができた。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

日本出国前の時点で寮に入れない状況だったためアパートを契約したが、アント到着後に入寮が決まったこと。

5-5. 留学前，留学期間を通じて，神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

秋に開催される留学者座談会のような、過去に留学した学生と交流できるような場がもっと留学前の時期にあればよかった。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに，理由を記入してください。

薦めます。

留学を通じて得られる経験は、留学以外のほかの方法では決して得ることのできないものであるから。旅行ではなく留学でしか、「他国の学生と一緒に学ぶ」ということはできないから。また奨学金や単位互換など、大学からの交換留学で海外に行くことで様々なサポートやメリットを受けることができるから。最後に、日本以外の国を訪ねて異文化に触れることはやはり必要であると感じるし、海外を見てまわるなら早ければ早い方がいいと感じるから。

5-7. 留学全体を振り返って，以下の質問に答えてください。

（5段階評価，5が最も高い評価，1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容，レベル等）に満足しましたか： 3
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 2
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ，料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い，満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 4

5-8. その他 自由に記入してください。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば，ぜひ報告書に添付して送ってください。

(デジタル画像でお願いします。)

6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて，留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるよう

に保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名，学籍番号，メールアドレスは公開されません。）

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料にすることに同意しない場合であっても，あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために，学内の関係部署に転送することがあります。

はい いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して，本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

6-3. もし写真を提出する場合，あなたの写真を報告書とともに閲覧資料にすることに同意しますか。

はい いいえ

6-4. もし写真を提出する場合，あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）

*ご協力いただける場合，後日，留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。**原則として e-mail で提出してください。**もし，e-mail を使用できない場合は，郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

bkyomu@b.kobe-u.ac.jp